



「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター



「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立する修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院、2015年4月開講）を支援し、連携するための機関として本年4月に発足し、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、2015年4月の連合大学院開講に向けて、「連帯社会」に関わる研究者の方々に、最近ご発表のご著書の内容を中心に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第3回は、杉田敦氏をお招きして、現代社会における「政治的思考」とは何かについて、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着30名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

ご講演をお聞きになられる場合には、テーマに関わるご著書『政治的思考（岩波新書）』を事前にお読みになっていただくことをお勧めします。

第3回：「政治的思考」とは何か（仮題）

日時 2014年12月13日（土）15:00～17:00（14:30開場）

場所 連合会館 4階404会議室

講師：杉田 敦 氏

法政大学法学部政治学科教授



杉田敦（すぎた あつし）氏のプロフィール

1982年東京大学法学部卒、同年東京大学法学部助手。新潟大学法学部助教授、法政大学法学部政治学科助教授などを歴任して、1996年より現職。専攻は、政治理論、政治思想史。最近の著書：『デモクラシーの論じ方—論争の政治（ちくま新書）』（筑摩書房、2001年）、『境界線の政治学』（岩波書店、2005年）、『政治への想像力』（岩波書店、2009年）、『政治的思考（岩波新書）』（岩波書店、2013年）など多数。

プログラム

* 来聴歓迎 *

- 15:00 ~ 15:05 開会挨拶
- 15:05 ~ 16:20 講演
- 16:20 ~ 16:55 質疑応答
- 16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）

URL: <http://recss.jp>

e-mail: info@recss.jp

